



まちなみ

明治期から別荘地として栄え、さらに住宅地として発展してきた逗子のまちにはヒューマンスケールな低層住宅が建ち並び、沿道の緑が丘陵へとつながっています。自然を暮らしの一部として感じられるこのまちでは、人々がゆったりと時の流れを感じながら自分らしい生活を楽しんでいます。



にぎわい

まちは人よりも長生きです。まちには変わり続ける人々をずっと見守ってきた場所や建物がたくさんあります。逗子のまちなかにある亀岡八幡宮はそんな場所のひとつです。初詣から季節折々の祭、多彩な市場までさまざまな人々が集まります。人々が集う風景もまた、景観を生み出す大切な要素です。楽しく暮らしている人がいるまちには魅力があふれています。

補助制度のご案内



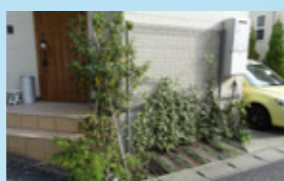
緑の助成制度

緑はまちなみに四季おりおりの彩りを与えてくれ、私たちの心をなごませてくれるだけでなく、騒音をやわらげたり、空気をきれいにしてくれる働きもあります。また、樹木は水分を多く含んでいるので、万が一火事が起こっても火が燃え広がるのを防ぐなど、防災上からも優れた効果を発揮します。



● 生垣助成制度

生垣用の樹木を無償配布します。生垣はブロック塀よりも安全性や通風に優れ、景観も良くなり道行く人を楽しませることもできます。



● シンボルツリー助成制度

シンボルツリー用の樹木を無償配布します。住まいに個性を与え、まちに潤いを与える樹木を植えましょう。



● 壁面緑化助成制度

道路などから見える建物の外壁、バルコニーなどにツル性の植物をはわせて緑化をする場合、費用の一部を助成します。

※制度を利用するためには条件等がありますので、詳細につきましては市のホームページ又は市役所緑政課にお問い合わせください。

景観アドバイザー派遣制度

景観形成に関する市民活動について、アドバイスを行う専門家派遣制度です。建築家、造園家、カラーコーディネーター、歴史的建造物の保全活用に係る専門家など、豊富な知識を持った専門家から直接アドバイスを受けることができます。

※この制度は、自治会や市民団体への派遣制度です。個人でのお申し込みはできません。

景観サポーターの募集

景観形成に関する活動や事業の企画立案などを市民協働で行い、景観まちづくりを推進していくために、景観に興味があるみなさんに登録していただく制度があります。登録後は今後予定している景観に関するイベント情報のご案内をします。

▶ お問い合わせ：まちづくり課（平成29年4月1日からはまちづくり景観課になります。）
E-mail: machi@city.zushi.kanagawa.jp Tel: 046-873-1111 Fax: 046-873-4520
facebook 逗子の景観まちづくり <https://www.facebook.com/zushiscape>
◎ このパンフレットは、行政と市民団体「ほととぎす隊景観部会」が2014年に共同制作した景観づくり読本「まちなみデザイン逗子」の内容の一部抜粋し編集したものです。より詳しい本編は、逗子市のホームページから閲覧・ダウンロードすることができます。



うみ

西に開かれた、遠浅で穏やかな逗子海岸は、スケールは小振りでも開放感にあふれ、四季折々の楽しみ方があります。晴れた日には江の島越しに富士山、伊豆半島を望む、逗子ならではの景観を生み出しています。



2015年
都市景観大賞
優秀賞受賞

まちなみ デザイン 逗子

私たちが始まる景観づくり

企画・制作＝ほととぎす隊景観部会＋逗子市まちづくり課



みどり

まちを三方から囲む丘陵には広葉樹が広がり、まちと緑が近いのが逗子の特徴です。写真は蘆花記念公園の遊歩道。まち周辺の緑の景観は、自然が与えてくれた大いなる財産です。太陽は丘陵から昇り、西の海に沈みます。



かわ

丘陵を源として市内を蛇行して流れる川は、上流から下流まで、さまざまな景色を見せてくれます。上流で目にする壺、鴨やサギが訪れ、大きな鯉の泳ぐ川を見るのは楽しく、岸辺の家や橋などの構造物と自然が美しく融合する水辺は魅力的です。

実践のヒント

逗子に住んでいるみなさん、これから逗子に住みたいと考えているみなさんは、きっと逗子の自然やそこに流れるゆったりとした時間に魅力を感じているのではないのでしょうか。しかし、残念ながら近年、貴重な自然環境を破壊する開発や逗子の風土・景観を損ねる家づくりなどにより、どこにでもある雑然とした住宅地と化してきています。豊かな自然とまちの暮らしが融合した暮らしを続けていくためにも、私たち自身がまちなみを考え守り、育てていくことが求められています。

それはなにもむずかしいことはありません。少しずつでも家の周りの景観を変えていくことで地域のまちなみデザインへとつながります。ここでは、普段の生活のなかで、逗子の景観をよくするために、すぐに始められる取り組みのヒントを紹介します。小さな日常の積み重ねで、私たち自身で住み続けたいまちをつくりましょう。

